

《QE予測シリーズ No.2013-3》

2013年4～6月期GDP統計予測

(1) 2013年4～6月期の実質GDP成長率は、前期比年率+3.6%（前期比+0.9%）と3四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。内需では個人消費や公共投資などが引き続き景気を押し上げたほか、設備投資も6四半期ぶりに増勢転化。外需では、輸出の持ち直しが徐々に明確化。内外需ともに景気を押し上げ、前期（前期比年率+4.1%、前期比+1.0%）からの高成長が持続。

①個人消費（前期比年率+1.8%、前期比+0.4%）

アベノミクスによる株価上昇が、消費者マインドの改善と資産効果をもたらし、衣料や高額商品などで売れ行きが好調。夏季賞与の増加も消費の押し上げに寄与。

②設備投資（前期比年率+3.8%、前期比+0.9%）

堅調な米国景気や円安などにより、企業の収益環境は改善。投資に対するスタンスも徐々に前向きとなり、2012年1～3月期以降減少が続いた設備投資は底入れの動き。

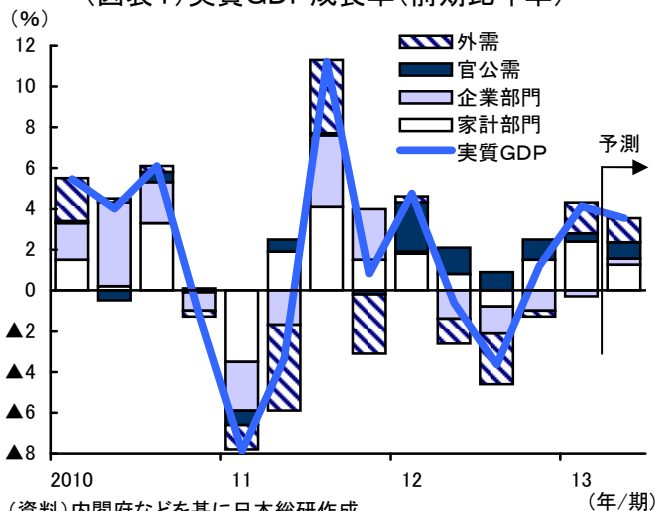
③公共投資（前期比年率+12.9%、前期比+3.1%）

震災からの復旧・復興に向けた動きが持続。加えて、2月に成立した緊急経済対策が順次着工・進捗へと移った結果、公共投資全体では増勢が加速し景気を押し上げ。

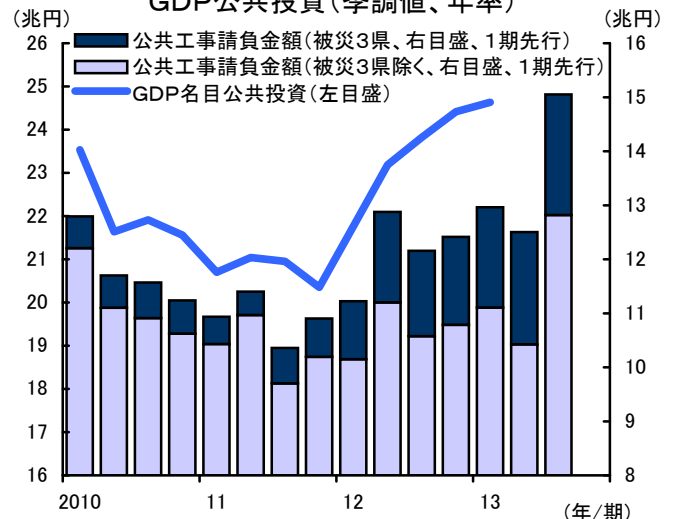
④外需（前期比年率寄与度+1.2%ポイント、前期比寄与度+0.3%ポイント）

輸入は堅調な内需とエネルギー関連財の輸入高止まりなどを受けて増加。輸出は米国向けが底堅い成長を背景に増勢が続いたほか、尖閣諸島を巡る対立以降減少が続いていた中国向けも持ち直しの動き。輸出の伸びが輸入の伸びを上回った結果、外需のGDP寄与度は2四半期連続のプラス。

(2) 7～9月期を展望すると、中国経済の先行きに不安が残るものの、①緊急経済対策の本格化に伴い公共投資が大きく増加すること（図表2）、②米国の堅調な経済成長や円安を背景に輸出環境が改善に向かうこと、③消費税率引き上げを控えて住宅投資や個人消費の一部で駆け込み需要が顕在化すること、などから、引き続き高めの成長率が続く見通し。

(図表1) 実質GDP成長率(前期比年率)


(資料)内閣府などを基に日本総研作成
 (注1)家計部門=民間最終消費支出+民間住宅
 (注2)企業部門=民間企業設備+民間在庫品増加
 (注3)官公需=政府最終消費支出+公的固定資本形成+公的在庫品増加
 (注4)外需=輸出-輸入

(図表2) 公共工事請負金額とGDP公共投資(季調値、年率)


(資料)国土交通省、建設業信用保証(北海道、東日本、西日本)を基に日本総研作成
 (注1)被災3県は岩手県、宮城県、福島県。
 (注2)被災3県、被災3県除くそれぞれのベースに対して季節調整。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 下田裕介 (shimoda.yusuke@jri.co.jp, 03-6833-0914)

《QE予測シリーズ》は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2013年7月31日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比 (%, 十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需							官公需			外需					
	民需				民間在庫			政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入				
個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	個人消費	住宅投資	設備投資										
2012/ 1~3	1.2	1.0	0.6	0.8	▲1.5	▲2.5	1769.3	2.4	1.5	7.0	59.1	808.4	2.7	2.0	1.1	▲0.1
4~6	▲0.2	0.1	▲0.2	0.2	2.3	▲0.2	▲1474.5	1.2	0.2	6.3	▲34.5	▲1313.5	▲0.0	1.8	▲0.5	▲0.3
7~9	▲0.9	▲0.3	▲0.7	▲0.4	1.5	▲3.3	543.7	0.9	0.4	3.2	16.0	▲3502.4	▲4.4	▲0.3	▲1.1	▲0.1
10~12	0.3	0.3	0.1	0.4	3.5	▲1.5	▲289.6	1.0	0.7	2.7	▲73.7	▲764.7	▲2.9	▲2.2	0.2	▲0.1
2013/ 1~3	1.0	0.6	0.7	0.9	1.9	▲0.3	▲82.7	0.4	0.4	0.4	▲19.1	2278.5	3.8	1.0	0.6	▲0.5
4~6	0.9	0.6	0.5	0.4	1.1	0.9	▲249.0	0.8	0.2	3.1	62.0	1703.5	3.2	1.2	1.0	0.1

■ 前期比年率 (%, 十億円)

2012/ 1~3	4.8	4.2	2.5	3.4	▲5.9	▲9.6	—	10.0	5.9	30.9	—	—	11.4	8.4	4.4	▲0.3
4~6	▲0.6	0.6	▲0.8	0.8	9.4	▲0.9	—	5.0	0.8	27.6	—	—	▲0.2	7.2	▲2.0	▲1.4
7~9	▲3.6	▲1.3	▲2.8	▲1.6	6.3	▲12.4	—	3.6	1.4	13.6	—	—	▲16.5	▲1.2	▲4.2	▲0.6
10~12	1.2	1.4	0.6	1.8	14.9	▲5.7	—	3.9	2.6	11.1	—	—	▲11.3	▲8.5	0.6	▲0.6
2013/ 1~3	4.1	2.5	2.8	3.6	7.6	▲1.2	—	1.6	1.7	1.6	—	—	16.1	4.0	2.2	▲1.8
4~6	3.6	2.3	2.0	1.8	4.4	3.8	—	3.1	0.6	12.9	—	—	13.3	5.0	4.0	0.5

■ 前年同期比 (%, 十億円)

2012/ 1~3	3.4	4.3	4.7	3.9	▲0.1	6.9	198.6	2.9	2.3	5.0	26.0	▲940.9	0.9	6.7	2.3	▲1.0
4~6	3.9	3.9	4.0	3.1	4.7	7.1	212.3	3.4	2.2	11.3	▲11.9	245.2	9.2	9.1	2.9	▲1.0
7~9	0.2	1.8	1.1	1.3	1.5	1.5	▲303.3	4.3	2.3	15.1	▲1.8	▲1939.5	▲4.8	5.2	▲0.6	▲0.8
10~12	0.4	1.2	▲0.1	1.0	5.8	▲7.1	106.2	5.7	2.7	19.6	▲5.3	▲1241.4	▲5.0	1.1	▲0.3	▲0.7
2013/ 1~3	0.4	0.9	▲0.1	1.2	9.4	▲5.2	▲244.1	3.8	1.6	13.1	▲33.5	▲787.0	▲3.5	0.3	▲0.6	▲1.1
4~6	1.3	1.2	0.7	1.4	8.2	▲4.0	▲34.8	2.9	1.6	10.1	▲5.2	▲59.6	▲0.4	▲0.2	0.6	▲0.7

■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)

2012/ 1~3	1.2	1.0	0.5	0.5	▲0.0	▲0.4	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0	0.1	0.4	▲0.3	—	—
4~6	▲0.2	0.1	▲0.1	0.1	0.1	▲0.0	▲0.3	0.3	0.0	0.3	▲0.0	▲0.3	▲0.0	▲0.3	—	—
7~9	▲0.9	▲0.3	▲0.5	▲0.2	0.0	▲0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	▲0.6	▲0.7	0.1	—	—
10~12	0.3	0.4	0.1	0.3	0.1	▲0.2	▲0.1	0.2	0.1	0.1	▲0.0	▲0.1	▲0.4	0.4	—	—
2013/ 1~3	1.0	0.6	0.5	0.5	0.1	▲0.0	▲0.0	0.1	0.1	0.0	▲0.0	0.4	0.5	▲0.2	—	—
4~6	0.9	0.6	0.4	0.3	0.0	0.1	▲0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.3	0.5	▲0.2	—	—

■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)

2012/ 1~3	4.8	4.3	1.9	2.0	▲0.2	▲1.4	1.4	2.5	1.2	1.3	0.0	0.3	1.7	▲1.4	—	—
4~6	▲0.6	0.6	▲0.6	0.5	0.3	▲0.1	▲1.1	1.2	0.2	1.3	▲0.0	▲1.2	▲0.0	▲1.2	—	—
7~9	▲3.6	▲1.3	▲2.1	▲1.0	0.2	▲1.7	0.4	0.9	0.3	0.7	0.0	▲2.3	▲2.5	0.2	—	—
10~12	1.2	1.4	0.4	1.1	0.4	▲0.8	▲0.2	1.0	0.5	0.6	▲0.1	▲0.2	▲1.6	1.4	—	—
2013/ 1~3	4.1	2.6	2.2	2.2	0.2	▲0.2	▲0.1	0.4	0.4	0.1	▲0.0	1.7	2.3	▲0.7	—	—
4~6	3.6	2.3	1.5	1.1	0.1	0.5	▲0.2	0.8	0.1	0.7	0.0	1.2	2.1	▲0.9	—	—

■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)

2012/ 1~3	3.4	4.5	3.8	2.3	▲0.0	1.0	0.2	0.7	0.5	0.2	0.0	▲0.7	0.2	▲0.9	—	—
4~6	3.9	4.1	3.2	1.9	0.1	0.9	0.2	0.8	0.4	0.4	▲0.0	0.2	1.4	▲1.2	—	—
7~9	0.2	1.9	0.9	0.8	0.0	0.2	▲0.2	1.0	0.4	0.5	▲0.0	▲1.5	▲0.8	▲0.7	—	—
10~12	0.4	1.3	▲0.1	0.6	0.2	▲0.9	0.1	1.3	0.5	0.8	▲0.0	▲0.9	▲0.8	▲0.2	—	—
2013/ 1~3	0.4	1.0	▲0.1	0.7	0.2	▲0.8	▲0.2	0.9	0.3	0.6	▲0.0	▲0.6	▲0.6	▲0.0	—	—
4~6	1.3	1.2	0.5	0.8	0.2	▲0.5	▲0.0	0.7	0.3	0.3	▲0.0	▲0.0	▲0.1	0.0	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。